

2016 年 3 月 10 日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

地方創生はチャレンジデーから！

チャレンジデー2016 開催130自治体の対戦組合せが決定！

東北地方から14の自治体を実施 敗れた場合は、相手自治体の旗を掲揚し健闘を称える

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団（所在地：東京都港区赤坂 理事長：小野清子 以下：SSF）が主催する、日本最大規模の住民総参加型スポーツイベント『チャレンジデー2016』の実施自治体の対戦組合せが決定いたしました。

チャレンジデーは、毎年 5 月の最終水曜日に世界中で実施される住民総参加型スポーツイベントです。住民が日常的に運動・スポーツを楽しむきっかけづくりを目的に開催されます。人口規模がほぼ同じ自治体同士が 15 分間以上継続して運動やスポーツを行った住民の参加率を競い合います。

敗れた自治体は、相手の旗を庁舎に掲揚し健闘を称えます。この対戦をきっかけに自治体間で継続的な交流が生まれています。

対戦組合せ 東北エリア

青森県	新郷村	VS.	藤里町(秋田県)	岩手県	葛巻町	VS.	真鶴町(神奈川県)
	田子町	VS.	玄海町(佐賀県)		陸前高田市	VS.	みやこ町(福岡県)
	藤崎町	VS.	大井町(神奈川県)	宮城県	七ヶ浜町	VS.	小鹿野町(埼玉県)
岩手県	奥州市	VS.	大村市(長崎県)		東松島市	VS.	杵築市(大分県)
	大槌町	VS.	山都町(熊本県)	山形県	鶴岡市	VS.	宇部市(山口県)
	軽米町	VS.	五城目町(秋田県)		米沢市	VS.	狛江市(東京都)
	北上市	VS.	石垣市(沖縄県)	福島県	伊達市	VS.	八女市(福岡県)

【担当者コメント：対戦自治体の交流について】

多くの自治体が、チャレンジデーを通じた住民の健康づくりへの意識向上や健康寿命の延伸、将来の医療費の軽減などを目的に掲げ、独自に様々な運動・スポーツプログラムを実施している。自治体間では、チャレンジデーの対戦をきっかけに、互いの自治体への表敬訪問や子どもたちの交流事業などが行われている。実施自治体にとって本事業が、健康・スポーツ施策上の課題の共有や、課題解決に向けた協働の機会となることを期待している。

【笹川スポーツ財団 地域連携推進リーダー 有田孝行】

■チャレンジデー2016 開催概要

【開催日】 2016 年 5 月 25 日（水）午前 0 時～午後 9 時

【勝敗・ルール】 人口規模がほぼ同じ自治体同士が、15 分間以上継続して運動やスポーツを行った住民の参加率（％）を競う。
対戦相手に敗れた場合は、相手自治体の旗を庁舎のメインポールに 1 週間掲揚し相手の健闘を称える。

【主催】 笹川スポーツ財団・全国 130 自治体